

佳作

ありがとうの気持ち

自然へ

群馬県 前橋東高等学校三年 大平 智恵

とても落ち込んだ気分だったある日、私は空を見上げた。少し霞んだ月が気になったのだ。その周りには雲とすき間からのぞいていた小さな星々。何だか少し気分が楽になった。また、とても疲れてクタクタだった時、ほんの少し出た夕焼けを見つけた。何だか少し頑張ってみようかなと思った。

私は、けっこつ空が大好きだ。星座や月の形はくわしくは分からない。けれど、たくさん私の心を明るくしてくれた。何だか得した気分だった。また、山とが行った時の森林の緑が良い。緑と一言で言っても、木の緑は本当に様々だ。濃い緑や白っぽい緑 言葉では表せないような色がたくさんある。そんな色がいっぱい目目の保養にもなるし、何より空気がいじく感じられる。それだけで、とても元気になった気分になる。それに、木々の間から見上げる青空はまた格別である。

空を見るのにオススメな場所はもう一つある。私の住む群馬県は海がないからという理由もあるかもしれないが、海も良い。スカッと

星が出てる夜空を見ると、嬉しくなる。それからくもっていて星が隠れてしまっている夜空に一つだけ頑張って輝いている星を見ても嬉しくなる。雲一つない青空もモクモクとした雲が浮かんでいる空も大好きだ。

空だけでなく、木や花を見てもホッとす。少し前、一面のひまわり畑を見た。土を肥やすために植えられたらしいそのひまわりは、きれいな黄色の花を力一杯広げていた。その黄色はた青空の下に広がる海。水平線がきれいだった。空のあおと海のあお、色が少し違ってそれがまたすごい綺麗だった。そのあおに揺られて、心は平靜で気分も爽快になった。

もちろん、山や海なんてめったに行ける場所ではない。日頃、生活する中で見つける小さなこともある。この間、久しぶりにモンシロチョウを見つけた。三匹いて楽しそうにとんでいた。四月頃は、通りに並ぶように桜が咲いていて美しかった。ほんのり色付いた、いわゆる桜色が、心まで優しい気持ちにしてくれた。

本当に自然ってすごいのだと実感した。ただ

そこにあるだけなのに…。ただ、そこにいるだけなのに…。励ましてくれたり、勇気付けてくれたり、心を穏やかにしてくれたりする。また、健康にもしてくれる。もちろん、星が出ていなかったり、雨で一瞬にして桜が散ってしまったりして、ちょっとガッカリしてしまうことも多々ある。それでも、また見られれば、やはり嬉しくなる。自然はきつと自分から率先して、私達を励ましている訳ではない。ただ自然に在るだけなのだ。逆にそのことが、私達を感動させているのかもしれないが。

私は、こんなにも助けられている。私も、こ
愛に包まれて、ここまで育った。水や養分をも
らって成長した木のように。だから、またここ
から一歩ずつ、人に元気や勇気、感動を与えら
れる人になってゆきたい。そのためにも、今は、
たくさんの感動を、空から山から海から、そし
て、日常のたくさんの自然からもらっているよ
うと思う。そして、いつかその蓄積された素晴ら
しいエネルギーを、周りにいる多くの人達にあ
げられる人になりたい。自然のように、誰かを
大きく包み込めるような人になって、自分自身
も包み込めるようになりたい。きつと、それが
私に出来る、『自然への』恩返し』だから。

んな風に誰かの心を感動させられるような存
在になれているだろうか。きつと私は、そんな
素晴らしい人ではない。青空のように明るく照
らすことも出来ない。海のように広い心も持つ
ていない。木のように優しく包むことも出来な
い。ひまわりのように元気を分け与えることも
出来ない。月や星の輝く夜空のように人を安心
させて癒すことも出来ない。まだまだ人間ので
きていない私は、ふと見つけたタンポポの温か
さには、はるかに及ばない。

だけど、私がいるだけでいいと言ってくれる
母がいる。私は、この母から生まれた。十分な

